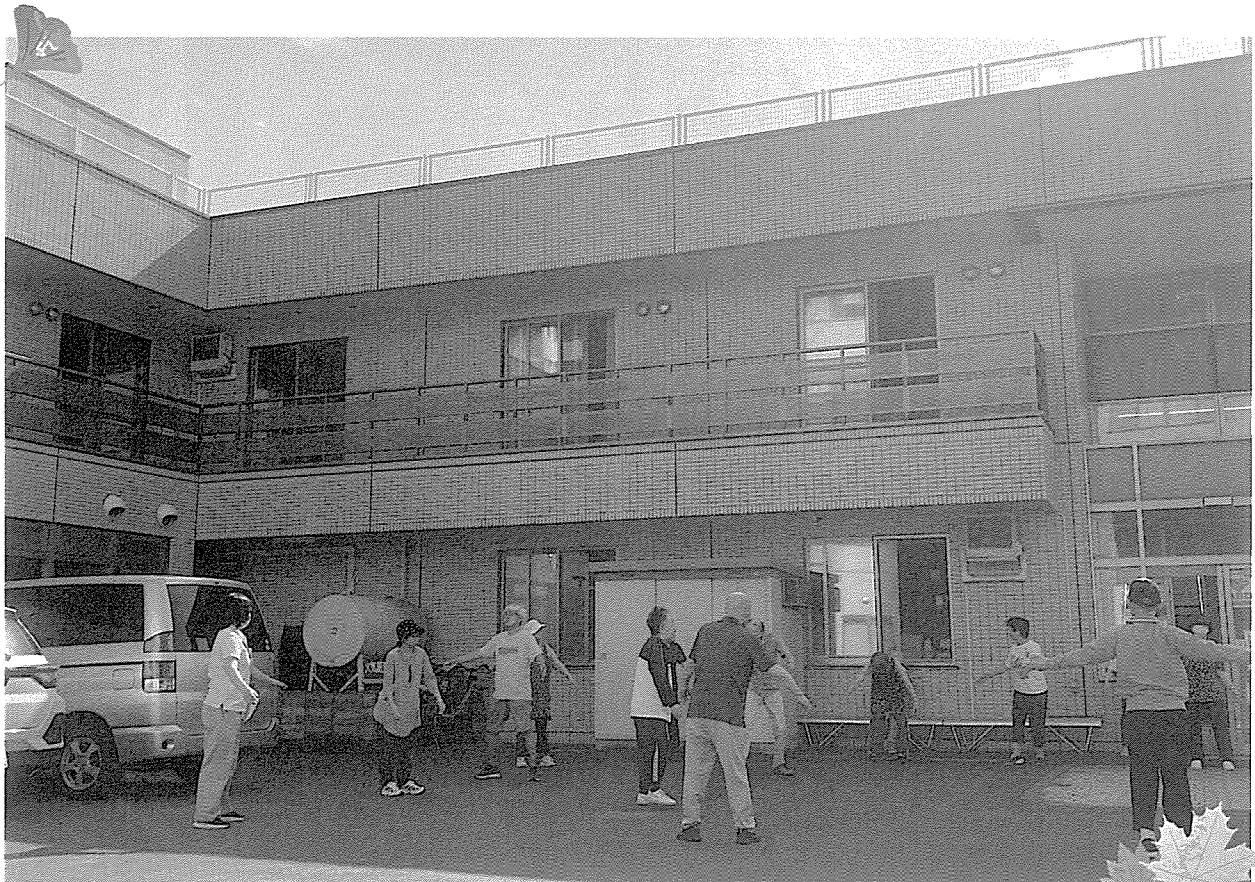


人とともに人のために

No.161

(令和4年10月15日発行)

札幌市あけぼの荘
白石福祉園
静心寮



『秋深き 隣は何を する人ぞ』
秋が深まり隣は何をしている人だろう…
という松尾芭蕉の有名な句です。

秋は実りがあり気候も過ごしやすく、
食欲・運動・読書と日本人にとって「秋」は
何か行動を起こしたくなる時期のようです。

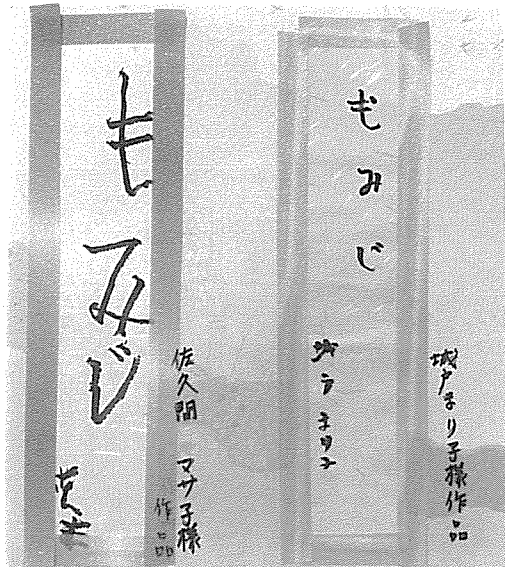
あけぼの荘でも秋がやってきております。

秋空の中のラジオ体操。

空が高く太陽の日差しと涼しい風が吹き
抜けます。

秋にまつわる書道。

もみじや秋の夜長など、秋を深く感じな
がら筆を執りました。





第60回

開設記念行事

5月12日

札幌市

あけぼの荘だより

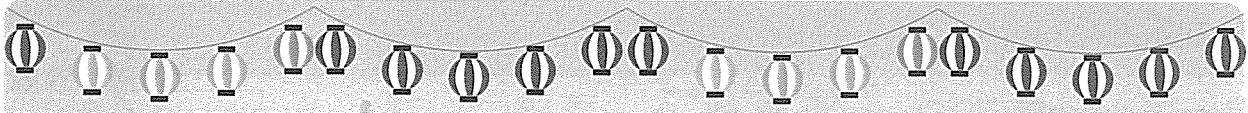
ご挨拶

施設長 一條 晶弘

当施設は、今年開設六十周年の節目を迎えることが出来ました。これもひとえに、歴代の先輩諸氏のご努力や、関係機関の方々のご協力によるものであり、心より感謝申し上げます。本来であれば皆様をご招待の上、式典を執り行うところでございますが、昨今のコロナ禍の折、感染予防を考慮し、利用者様と職員のみで、ささやかにお祝いさせていただきました。

昭和三十七年の開設以来、移り行く時代背景の中、様々な方々の支援をして参りました。特にこの十年は、救護施設に求められる機能が大きく変わってきており、現在は「循環型セーフティネット施設」として、地域や他施設への移行を積極的に行っております。

支援方法や対象者が変わるとも、私たちの基本的な姿勢は、今も昔も変わらないものと思っております。これからも、社会の要請に合わせ、必要な社会資源としての役割を果たしてまいります。



夏祭り

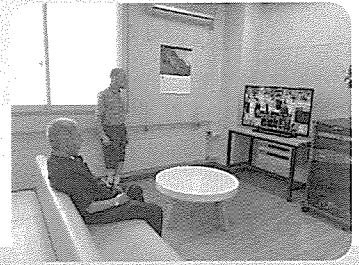
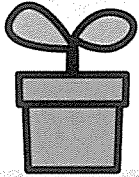
8月10日



今年も恒例の夏祭りを開催しました！
 昼食に焼きそばとお好み焼き、フランクフルト、かき氷、飲み物の提供を行い、景品付きのくじ引きも実施し、お祭り気分を存分に味わって頂きました。
 利用者様と職員が共に楽しみながら、夏の一大イベントを満喫しました。

よかさろんその後…。

令和2年より作業室をサロンとして使用しております。愛称は公募により“よかさろん”と命名され、利用者様から親しまれ利用されています。少しずつレイアウトの変化を加え、ちょっとしたカフェの様で、居心地の良い空間になってきています。



新型コロナウイルス施設内感染について

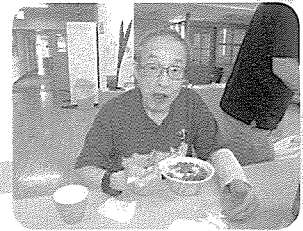
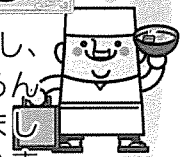
先般9月14日、当施設のご利用者様・職員から、新型コロナウイルスへの感染が判明しました。

10月1日現在施設内では、一部日課をストップし、職員一同一丸となって終息に向けて取り組んでおります。詳細につきましては、改めて後日ご報告いたします。

何卒、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

㊟レク出前

ご希望の出前を注文し、雰囲気のあるよかさろんで美味しい食事をしました。皆様のととても良い表情が印象的で、楽しいひと時を過ごしました。



居宅訓練(終了)

1年間の居宅訓練は終了し、自立する事となりました。普段見慣れた顔が見られなくなると思うと寂しい気持ちがありますが、やはり旅立ちには嬉しいですね。

生活に余裕ができ、好きな料理を作り、趣味の散歩を楽しんでいます。



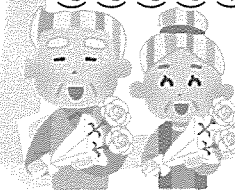
交通機関を使っでの訓練もしました。

長寿祝い

おめでとう
おめでとう

- ・田村 貞様(米寿)
- ・佐藤 節子様(傘寿)
- ・佐久間 マサ子様(傘寿)
- ・細川 武夫様(傘寿)
- ・内海 一枝様(古希)
- ・泉 久美子様(古希)
- ・大和 紀博様(古希)

今年はこの七名の方がお祝いです。皆さん毎日笑顔で過ごされています。ずっとずっとお元気でいて欲しいと思います。



コロナ禍で、なかなか外出が出来ない今日この頃。
 施設内では、みなさん元気に夏を満喫しました!!
 イベントづくしで笑顔が溢れているので、
 掲載しきれない分は、是非HPでもご覧ください☆

白石福祉園だより



夏
まじ

